

茨木市豊川～高槻市山手町

● 歩行距離 / 10.0km ● 標準歩行時間 / 2時間30分 ※1時間4kmで計算しています



郡山宿本陣

江戸時代の大名家宿で、国の史跡指定を受けています。西国街道のほぼ中央にあり、御成門脇の櫓が美しく咲いたことから「櫓の本陣」とも呼ばれています。現存する宿帳には、忠臣蔵で有名な赤穂藩主浅野内匠頭の記録があります。

白井河原合戦跡

信長上洛後、摂津の支配をめぐり、和田方の軍と池田方の軍が激しくぶつかり、大きな合戦があったのがこの地です。この時、「白井河原は名のみにして、唐紅いの流れとなる」と言われるほど、赤い血に染まったと伝えられています。

耳原公園

「山崎通分間延絵図」に描かれている字幣池にあたる場所で、現在は公園になっています。幣池の近くには、明智光秀にまつわる糠塚がありました。「摂陽群談」によると、天正年中に明智光秀がこの地を穿って糠・秫等を埋め、軍用とした古蹟であるため、糠塚と名付けられたとされています。

太田茶白山古墳(継体天皇陵)

5世紀中頃に築造された全長226m、前方部幅147m、前方部長さ117m、後円部径138m、最大幅30m程の濠をもった三島最大の前円後円墳です。

いましろ大王の杜

日本を代表する歴史遺産・今城塚古墳が約9haの緑豊かな古墳公園に生まれ変わった「いましろ大王の杜」。今城塚古墳は、6世紀前半に築かれた二重の濠を備える淀川流域最大の前方後円墳です。10年にわたる発掘調査の結果、明らかになった大王のハニワ祭りの様子が約190点の復元埴輪で再現されています。

高槻市立今城塚古代歴史館

今城塚古墳から出土した貴重な埴輪や市内の考古資料を展示。大型古墳の築造の様子を実大のジオラマ模型や映像で学べます。古代の歴史体験も楽しめ、歴史館のグッズや高槻の特産品も購入できます。
開館時間▶10:00～17:00 入館料▶無料(特別展・企画展は有料の場合あり) 休館日▶月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日、年末年始 ☎072-682-0820

芥川宿

西国街道の宿駅の一つ。大名が使う本陣に加え、天保期(19世紀前半)には旅籠屋が33軒、家屋数も253軒を数えました。今でも家並みや、府史跡の芥川一里塚に面影が偲べます。また、街道沿いには北部の山岳寺院の神峯山寺への巡礼に人々を誘った道標や金毘羅詣りの旅人のために建立された石燈籠が残ります。

嶋上郡衙跡

「いましろ大王の杜」近くにある嶋上郡衙跡。奈良～平安時代の郡役所の跡で、古代の山陽道(現在の西国街道)に面していました。庁院や寺、役人が住む村があったことが発掘調査で確認されています。昭和46年に国の史跡に指定され、郡庁院が1/3スケールで仮整備されています。

天神馬場

JR高槻駅の北側一帯は、かつて上宮天満宮の馬場があったところで、天神馬場と呼ばれていました。天正10年(1582)に起こった山崎合戦の際には、豊臣秀吉が本陣を置き、西国街道を軍勢が行き交いました。現在の石鳥居は、明暦2年(1656)に高槻藩永井家初代の永井直清が寄進したものです。

八丁松原

江戸時代の高槻は、譜代大名永井家3万6千石の城下町。この京坂間唯一の城下町は、淀川や西国街道を行き交う人びとで賑わいます。城下町の「京口」から西国街道へと至る8丁(約880m)の間には、高槻藩が松並木の道を整備し、参勤交代などに使いました。これが八丁松原で、城下町へのメインルートといえます。



高槻市立しろあと歴史館

貴重な文化財や模型で芥川宿や高槻城などが学べます。キリシタン大名として知られる高山右近ゆかりの資料も展示。高槻城公園には、江戸時代の商家を移築した歴史民俗資料館があり、昔の生活道具や農具などが見学できます。
開館時間▶10:00～17:00 入館料▶無料(特別展・企画展は有料の場合あり) 休館日▶月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日、年末年始 ☎072-673-3987